



きずねおにい!

なんのひねりもない妙高型の本。

妙高



妙高型一番艦。眠れる獅子。

那智



妙高型二番艦。冷静沈着な鷹。

足柄



妙高型三番艦。
踊れる狼。

羽黒



妙高型四番艦。震える子犬。

撃て！撃てーっ！



ただいま
妙高姉さん

キラ

今日の演習も
ばっちり勝利
してきたわ

そう、お疲れさま



でもね足柄？
深海棲艦相手なら
まだしも演習で
必要以上の砲撃を
するのは少々
いただけないわ

資源は有限
なのだから…

大丈夫よお

手を抜いてるわけじゃ
ないんだから
少し派手にするくらい…



端的にいうと
無駄遣いは
いけません

わかった？

…はひ…



足柄「妙高姉さんたらほんとーに怖いのよ」

足柄「ほんとーに怖いんだから…」

妙高姉さんて
ほんと怒ると怖いわ…

そうかなあ…

姉さんほど穏やかな
艦娘もそうはいないぞ

な？

そんな！だって
いつも私に

そもそも私達は
姉さんに叱られる
ようなことはしない
からな

私もいま
気がついたと「よう

あ
ん

羽黒おまえは
もう少し堂々と
した方がいいぞ

うっ…
うん…

ウウツ

わかっては
いるんだけど
なかなか…

はは

足柄はその点何にも
臆さないのが長所だな

見習うべき
かもしれ

よおーし!

今日もカツカレーを
作るわよ!

こないだあまり
ウケなかったのは
ロースカツだった
からだわ!だから
今回はヒレカツよ!

…やっぱり
あまり見習わなくて
いい……

まじか……

はーん……

みなさん
またおー!
★

那智「足して二で割れないものか」

羽黒「一口あげるのは構わないんだけど…」



提督から
甘味の差し入れが
届きました



はい、姉さん

小豆好きでしょう

あら
ありがとうございます



羽黒！羽黒！
私チョコがいいわ！
チョコ！チョコよ！

だけどいちごも
捨てがたいわ！
一口もらっても
いい!?

う、うん…



妹にやられネッ

ッ

ッ

那智は私に
敵しすぎじゃない!?

はま...

姉として当然の
務めをしているまでだ

あまり敵しいのも
考えものですよ那智

那智も同じこと
されてみたら
いいのよっ

いいだろう

私はどんなに
敵しく強くやられても
構わない

全て
耐えてみせよう

なんてっ...
ことはっ...
ないっ...!

何やってるの
お姉ちゃんたち...!!?

妙高「那智がやれといっているのでやりました」

足柄「ていうか私も悪いことしてないのになんで叩かれるのかしら？」



あー、あー



那智「可能性があるなら賭けるのが勝負だろう」

羽黒改二

妙高改二

勇ましいい…
良い改造を施して
もらったな

羨ましい

あ

羽黒は幸運艦と
呼ばれていた功績が
認められての
改造だそうよ

那智も足柄も

きつとすぐ

改造の話が来ますよ

それなんだけど！
私いつそ改造なしで
強さを追求すると
言うの面白いと
思うのよね！

それならいいわね！

幸運

……

幸運を呼ぶアイテムを
教えてくれ…？
貴方のような人が
珍しいわね

どうしてか
幸運艦…
二重艦…

ていうかなんで
私たちにそんな事
聞きに来たのかしら…
嫌味…？

初風「これだから妙高姉さんは怖いのよ…」



曙「真面目か！」

駆逐艦・曙は
かつて那智の最期を
看取った

嫌な仕事を
させてしまったな…

同情しないで

それがあの時の
私の仕事だったのよ

辛い記憶を
引きずっている
だろうに…
駆逐艦ながらなんと
強い意志を持っている
のだろう

なんらかの形で
経緯を表したい
ところだ…

敬意を表して貴様の
髪型を模してみた

礼

もとより似ている
髪型だったし
あくまで私の
自己満足だから
どうか許

やめてお願い
そりいうの
いらぬから

妙高型で実際に
艦隊入りした順番は
那智・羽黒・
妙高・足柄である



この順番だと
私お姉ちゃんに
なるんだ…

こ…こら足柄！
チョコアイスは
私のよっ



みよ、妙高ー！
足柄に言っつて
聞かせてちょうだい！



足柄お姉ちゃつ…
その これほつ

いいのよ
羽黒姉さん
続けて♡

見ないで…
見ないでえーっ！

このネタは
しばらく
引きずられた

足柄「お姉ちゃんになつても妙高姉さん頼るね…」

妙高「那智は笑いのツボが浅いの」



私はかつて
ずっと旗艦を
務めていた

だから那智艦隊と
呼びかけをさせて
もらっている



足柄 「暁のお子様ランチの旗よ」

羽黒「大丈夫、姉さんのほうが言いやすいから…（精一杯のフォロー）」



涼風「かぐや姫ってやつだぜ！あれ！」



妙高は後ろ髪を
まとめている



那智「今夜ばかりは酔わせてもらおう」

MVPを
取ったので
晩酌中の那智

なぜお前も
呑んでいるんだ

一人より二人の方が
いいでしょう？

確かに前が
賑やかしてくれるから
助かることもある

…まあな

日常でも戦場でも
猪突猛進で危ういのが
心配だが

お前は自慢の…
頼れる妹だよ…

どうした足柄
鼻水が目から
漏れているぞ

やだもう…
那智ったら
酔っ払っちゃって…

川ず…

足柄はもう少し
落ち着きませしょうね



というわけで
今日は黙って
待機よ……

演習の時間
です



第一艦隊
出撃します！

第三艦隊
遠征行くよー！



狼って言うより……
犬みたい……



足柄「やればできるんだから。…まこと」

お姉ちゃん

私いつも元気な
お姉ちゃん好きだよ

落ち着きがないとか
暑苦しいとか
うるさいとか
言われるけど

私にとっては…
どんなお姉ちゃんも
大事だしとても好き…

……

羽黒……

じゃ早速だけど
お茶いれてきて

お姉ちゃん命令よ

えっ!?
あ……うん……



おしまい!